

安全セミナー 「安全性評価手法」

定常 HAZOP 手法の詳細と応用

手法の理解と実習を主体とするセミナー

主催 (社)化学工学会安全部会

対 象 : 製造部門、工務部門の部課長、安全関係の管理者及び専門職。

講習目標 : 定常操作に対する HAZOP スタディ実施方法の習得。

講習内容 : 定常 HAZOP 手法の方法論の理解と演習

- 連続プロセスに対する定常 HAZOP の詳細と応用性を理解する。
- 化学プラントの潜在危険性の判定ができる能力を養う。
- 受講者が事業所の HAZOP リーダーとなれるようにワークショップ形式での実習を行う。

詳細・時間割については、別表「講義内容の詳細」参照

開催日 : 2022 年 2 月 17 日 (木) ~ 2 月 18 日 (金)

場 所 : Teams のアプリを使用する Web 上

講 師 : 高木伸夫氏 (システム安全研究所所長)
角田 浩氏 (レジリエント安全研究所)

募集人員 : 20 名 (定員になり次第締め切ります)

締 切 : 2021 年 12 月 20 日 (講義部分コースの受講は 2 月 3 日)

フルコー
ス受講料 : 化学工学会安全部会の法人賛助会員社員 5.5 万円 (従来は 7 万円)
会 員 外 7.2 万円 (9 万円) 受講票は発行されません。

(内税)

お申込み後、直ぐに受講テキストと演習用 P&I とリスクアセスメント概論の予稿集が送付されます。Teams の通信試運転は必要なら個別に発信されます。フルコース講習の受講者には受講修了証を交付する。受講の為に Teams の通信試運転 URL が 2 月 4 日 13 時に発信されます。

講義部分
のみの
受講

講義時間は 2 月 17 日 10 時から 2 時間で演習はしなくても定常 HAZOP の手法を振り返りたい方あるいは管理職の方で手法を詳しく知ってリスク低減計画に貢献したい方向けのフルコース受講の方々と同じ時間に講義を受けるコースです。

受講料は 1.5 万円 (税別) 備考欄に講義のみとお書き下さい。

受講テキストが受講前に電子メール添付 PDF で送付されます。

受講の為に Teams の通信試運転 URL が 2 月 4 日 13 時に発信されます。

申 込 先 : (社) 化学工学会安全部会のサイトでお申し込み下さい。

<http://www2.scej.org/anzen/>

お問い合わせ先: 安全部会事務局 (下記 URL からメールフォームによりご送信ください)

<http://www2.scej.org/anzen/contact/>

〒112-0006 東京都文京区小日向 4-6-19

フルコース受講のお申し込み後の欠席で代理出席がない場合はキャンセル料 20000 円
 によりお願い申し上げます。

プログラム
 (仮)

日	時間	分	内容	担当	Teamsの部屋
1日目	10:00-11:30	90	連続HAZOP手法詳説	高木	全体
	11:30-12:00	30	簡易モデルプロセスでの簡単な演習	高木	
	12:00-13:00	60	昼食		
	13:00-13:30	30	・ HAZOP手法質疑 ・ HAZOP演習への準備 (プロセス説明、解析対象ノードなど)		
	13:30-13:40	10	Teams切り替え		全体→個別
	13:40-15:10	90	連続HAZOP演習-1	高木、角田	個別
	15:10-15:35	15	休憩とTeams切り替え		個別→全体
	15:35-16:45	70	演習-1の中間発表と講評	高木、角田	全体
	16:45 -		質疑と明日の予定説明		
2日目	10:00-11:20	80	連続HAZOP演習-1 (続き)	高木、角田	個別
	11:20-11:25	5	Teams切り替え		個別→全体
	11:25-12:20	55	演習-1 最終発表と講評	高木、角田	全体
	12:20-13:10	50	昼食 & Teams切り替え		個別→全体
	13:10-14:40	90	連続HAZOP演習-2	高木、角田	個別
	14:40-14:50	10	休憩とTeams切り替え		全体→個別
	14:50-15:50	60	演習-2の発表と講評	高木、角田	全体
	15:50		総括質疑&終了	事務局	